

令和8年5月広報委員長会議

日時 令和8年5月1日（金）午後1時30分

場所 市役所3階全員協議会室

【クリーンさかわ、山王川・久野川一斉清掃について】

今月10日に開催予定の「クリーンさかわ」は、6月6日に開催予定の「山王川・久野川一斉清掃」と同様、河川環境を守る非常に重要な取組であり、地域の垣根を越えて実施される大変素晴らしい活動です。皆様の環境美化活動へのご協力にはいつも感謝しております。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

【小田原市立総合医療センターの開院について】

いよいよ、5月4日に新病院が「小田原市立総合医療センター」と名称を新たにしてお開院します。5月7日には外来診療もスタートします。4月19日には、開院記念式典と内覧会を開催し、ご支援・ご協力いただいた多くの方々にご列席いただき、誠に、かつ、盛大に執り行うことができました。また、21日には、自治会連合会長の皆様にもご内覧いただき、とても好評であったとの報告を受けています。

同センターは、高度で専門的な医療の提供に加え、救急医療や災害医療への対応など、多様化・高度化する医療ニーズに応える体制を備えているほか、病室を広くし個室を増やすなど、療養環境の向上と機能充実を図り、外来機能では、患者アプリや到着確認のシステム化により、スムーズな外来受診を可能としています。市民の皆さんがいつでも「安心」してご利用いただける施設になることで、総合計画「おだわら協創プラン」のまちづくりの目標に掲げた「いのちを大切にすおだわら」を着実に実行してまいります。

【地域福祉活動支援員の配置について】

「おだわら協創プラン」では、協働プロジェクトの一つとして、「ケアタウンの実現」を掲げています。平成22年度に打ち出した「ケアタウン構想」では、地域力を生かした支え合い活動の定着を図るとともに、相談支援機関の連携による包括的な相談支援体制を整備することで、誰もが安心して暮らせる地域づくりを進めてきました。しかし、社会の変化に伴い、地域福祉課題への対応や担い手不足が課題となっています。そこで、今年度策定予定の「第5期小田原市地域福祉計画」では、改めて「ケアタウンの実現」を理念に掲げ、活動を担う人々や地域を支える仕組みの強化を目指します。そして、この計画の策定に先立ち、地域を支援する体制を強化するため、社会福祉協議会に新たに「地域福祉活動支援員」を配置しました。

こうした「地域支援」の働きは、これまででも社会福祉協議会に配置していた相談支援員が地域住民に対する個別支援と並行して、地域との関わりの中で実践してきたもので、例えば、昨年度、川西地区を中心に展開した移動スーパー事業では、この支援員が地域の要望を調整し、民間小売事業者と連携することで買い物の不便という課題の解消を図りました。

今後、地域福祉活動支援員は、市の福祉部門や地域コミュニティ部門の職員とのチーム体制で業務に当たることとしています。初年度の配置は1名ですが、今後増員を図りながら地域支援の機能を強化していく考えですので、ご承知おきいただきますとともに、各地区においても、引き続き「ケアタウンの実現」に向けてご協力を賜りますようお願いいたします。

【物価高騰対応生活支援給付金について】

国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金が拡充されたことに伴い、食料品の物価高騰の影響によるご負担軽減のため、全市民を対象に一人当たり5千円の給付を行っています。3月中旬以降、世帯主宛てに案内を送付し、4月中旬から順次、預貯金口座へ振り込み、約8割の世帯への給付が完了しています。

しかしながら、公金受取口座の登録等がなく、申請手続が必要な世帯のうち、約1万世帯について、まだ給付金受取の申請がない状況です。申請書が届いた世帯は、郵送による提出又は電子申請のいずれかの方法により申請が必要となります。申請期限は6月30日までとなりますので、お早めに申請いただくよう、地域の皆様にご周知くださいますようお願いいたします。

【結び】

5月3日（祝）は、本市最大の観光イベント「第62回小田原北條五代祭り」が開催されます。今年、北条三兄弟（氏政、氏照、氏邦）がそれぞれ居城を構えた小田原市、八王子市、寄居町が姉妹都市提携10周年を迎えることを記念し、3市町の青年たちによる「北条三兄弟きずな隊」がパレードに参加しますので、お楽しみください。武者隊パレードには、自治会総連合の皆様もご参加いただくと伺っていますが、時節柄、暑さが予想されますので、水分補給などの熱中症対策を行っていただいた上、お祭りを盛り上げていただければと思います。